

		EZ-WIN総合評価シート			23.6.11 (日) 函館11R G3函館SS 芝1200m A 3歳上別定 15:25																		
間隔	総合評価点数	予想印	枠番	馬番	馬名	性別	年齢	負担重	予想人気	相対指数	函館SS血統	最終調教評価	中間調教評価	脚質前走	脚質2前	脚質3前	血統・人気複率	血統複勝回収値	前距離複率	騎手	調教師	前走不利	レース適性
11	48	▲	1	1	美)トウシンマカオ	牡	4	58	2	A	注	馬	D	14,8	10,4	5,1	0	0	67	鮫島克	高柳瑞		B
8	14	×	1	2	美)レイハリア	牝	5	55	16					3,16	1,13	3,14	2	78	1	亀田温	田島俊		注
16	25		2	3	栗)サトノアイ	牝	5	55	15	B				5,18	6,3	10,4	0	297	4	富田暁	須貝尚	WR	短縮
8	9	×	2	4	美)カイザーメランジェ	牡	8	57	10		血			8,7	6,10	2,14	11	67	8	吉田隼	中野栄		☆
9	30	注	3	5	美)ヴィズサクセス	牡	6	57	9	B	△	馬		1,7	8,7	5,15	0	0	8	岩田康	奥村武		☆
11	15		3	6	栗)ウォーターナビレラ	牝	4	55	6					8,17	3,16	3,14	8	49	8	武豊	武幸四		
8	23	★	4	7	栗)ジュピリーヘッド	牡	6	57	4	B		馬		9,10	4,12	3,7	11	67	8	西村淳	安田隆		B
13	21		4	8	美)リバーラ	牝	3	52	8			馬		2,15	3,18	1,5	13	118	9	M. デ	高柳瑞	TR	短縮
11	20		5	9	栗)ディヴィナシオン	牡	6	57	11	B			B	14,8	9,6	11,7	3	34	8	松田大	森秀行		
9	9		5	10	栗)テイエムトッキュウ	牡	5	57	13		注	馬		1,8	1,14	1,8	11	67	8	津村明	木原一		
5	29		6	11	栗)ジャスパークローネ	牡	4	57	14	A			B	1,7	1,6	1,12	0	0	0	浜中俊	森秀行		
9	21	◎	6	12	栗)ムーンプローブ	牝	3	52	5		注	馬		11,16	9,3	4,17	11	53	9	北村友	上村洋	R	注/短
9	33	○	7	13	栗)プトンドール	牝	3	52	1		注		B	6,12	11,6	14,9	0	0	39	池添謙	池添学	R	A/短
5	32	×	7	14	栗)ヴァトレニ	セ	5	57	7	B	注	馬	B	9,7	4,8	6,9	11	53	8	幸英明	長谷川	展	
8	49	△	8	15	美)キミワクイーン	牝	4	55	3	B	血	馬		3,5	6,11	4,2	20	67	28	横山武	奥村武		A
9	16	×	8	16	栗)カルネアサーダ	牝	4	55	12	B		馬		2,10	2,13	2,13	13	59	8	角田大	加用正		

今年は先行多数のフルゲート開催である事に加え、近走ダート戦で逃げていたテイエムトッキュウと、ハイペース逃げ馬ジャスパークローネが隣同士の枠に入った事で、前半はかなり速いペースになりそう。

土曜日の馬場は、ほぼ標準時計の馬場で、差し・追込みも出番がある公平な馬場傾向でした。

また、開幕週の函館1200mで良く見受けられる距離短縮がハマりやすい傾向は今年も健在です。

◎12番ムーンプローブ(牝3歳/前走472キロ)

父:モーリス(欧ロベルト系)

父母父:カーネギー(欧サドラーズ系)

母父:フジキセキ(Pサンデー系)

祖母父:ピアンコーニ(米ダンチヒ系)

サンデーサイレンス4×3クロス

ダンチヒ5×4クロス

モーリス産駒の牝馬は、函館1200mでの回収期待値が高く、単回率259%/複回率172%

本馬は1200m戦は初めてになりますが、前後半3Fのタイム差が「減速2秒6」と言う超消耗戦ラップとなったG2フィリーズレビュー1400mで中団から上り3位の末脚を発揮して、勝ち馬に0秒1差の2着に好走しており、高いスプリント適性の片鱗を見せました。

この消耗戦適性は、母父に消耗戦耐性を強化する

フジキセキを持つ事と、ダンチヒのクロスを保持する事で
実現したものだと考えております。

前走が桜花賞だった3歳牝馬は、過去10年で4頭が出走して
3勝を挙げる黄金ローテであり、今年はOブトンドールと本馬の2頭が
該当ローテになりますが、G2フィリーズレビューでは
ブトンに0秒3先着しており、コチラを上を取る事に決めました。

O13番ブトンドール(牝3歳/前走486キロ)

父:ビッグアーサー(欧プリンスリーギフト系)

父母父:キングマンボ

母父:スイフトカレント(Lサンデー系)

祖母父:ジェネラス(欧ニジンスキー系)

Mr.プロスペクター4×5クロス

父ビッグアーサーは高松宮記念をレコード勝ち。
1200mを主戦場とした典型的なスプリンターでした。

産駒にもその傾向は色濃く受け継がれており、
勝ち星の77%が1200mでのものとなっております。
特に牝馬の場合は短距離指向が強くなる傾向があります。

1200mの中でも、コーナー角度がタイトな
ローカルの1200mに減法強く、北海道でも
札幌1200は不振ですが、函館1200は
大の得意コースとなっております。

ブトンドールも例にもれず、当コース新馬戦と
函館2歳Sを連勝しており、1400m以上での
勝ち星を挙げるには至っておりません。

函館2歳Sは稍重馬場の影響もあり、
ラスト3Fが「減速1.2秒」と、超のつく消耗戦で、
タフな競馬への耐性は、祖母父ジェネラス譲りだと
考えております。

不安材料としては、開幕週の良馬場で
時計が速くなると、スピード強化の血が薄い
この馬が勝ち切れるかどうか？だと考えます。

ちなみに本馬は、マイ注目馬に
「ローカル1200m限定」の条件で登録しています。

★7番ジュビリーヘッド(牡6歳/前走474キロ)

父:ロードカナロア(欧キングマンボ系)

父母父:米ストームキャット

母父:ディープインパクト

祖母父:セーヴルロゼ(欧ニジンスキー系)

曾祖母父:欧カロ系/グレイソヴリン系

昨年の2着馬。

函館は非常に相性が良く、3戦3連対。
札幌でも2戦1勝と適性を示しており、
ロードカナロアとフランス牝系の配合が
絶妙な洋芝適性を生み出したと言うイメージです。

短距離戦での絶対的なスピードを強化する血を
父のロードカナロア以外には持っていないので、
他場の重賞ではスピード能力が少し足りない印象ですが、
洋芝なら重賞でも通用するのだと感じています。

注5番ヴィズサクセス(牡6歳/前走486キロ)

父: シューニ(欧ヌレイエフ系)

父母父: デインヒル(欧ダンチヒ系)

母父: ダルシャーン(欧ネヴァーヴェンド系)

祖母父: 欧ノーザンダンサー系

曾祖母父: 米ポールドルーラー系

父シューニは仏国の1400mG1馬。

その産駒の距離適性は圧倒的に芝1200mで、

勝ち星の60%を占めています。

特に函館1200mは好相性で、複勝率67%/複回率104%

牝系ファミリーも函館は得意で、複勝率47.1%/複回率102%

本馬自身も当コースは4戦3連対と優秀ですが、
良馬場での消耗戦ラップに対する耐性は決して高くはなく、
どちらかと言えば、母父ダルシャーンの影響を受け、
雨馬場で上り時計が掛かるレースが合っているイメージです。

ただ、内目の枠に入って鞍上が岩田殿となりますと、
これはちょっと「期待を込めた警戒」をしてみたくになります。

馬券

EZ-WIN推奨馬券

馬連ボックス: 1・13・15

くまもん馬券

単勝: 12番

複勝: 12番

ワイド: 12-5・7・13

馬連: 12-1・5・7・13・15

3連複フォーメーション30点

12-1・5・7・13・15-印全頭

EZ-WIN総合評価シート		23.6.11 (日) 東京11R G3エプソムC 芝1800m C 3最上別定 15:45																					
間隔	総合評価点数	予想印	枠番	馬番	馬名	性別	年齢	負担重	予想人気	相対指数	トレンド血統	最終調教評価	中間調教評価	脚質前走	脚質2前	脚質3前	血統・人気複率	血統複勝回収値	前距離複率	騎手	調教師	前走不利	想定ラップ適性
7	46	×	1	1	栗)エアロノア	牡6	57	8	B	注	B	C+	7,8	12,2	7,7	7	90	8	田辺裕	笹田和		B	
3	52	◎	1	2	栗)マテンロウスカイ	セ4	57	3	A	注	C	C	1,6	1,7	7,2	16	82	28	横山典	松永幹		A	
10	47	×	2	3	美)インダストリア	牡4	58	2	A		馬	E	6,3	11,5	10,2	100	130	48	C. ル	宮田敬			
5	37		2	4	栗)カワキタレブリー	牡4	57	7		注	D		9,1	7,11	6,3	8	104	8	松山弘	杉山佳		B	
6	58	×	3	5	美)レインフロムヘヴン	牡5	57	4	A	注			5,3	8,2	14,1	26	87	20	D. レ	堀宣行			
5	17		3	6	美)ショウナンマグマ	牡4	57	13	B	注			2,14	2,8	6,15	0	0	3	吉田豊	尾関知	R		
5	24	★	4	7	美)ピースワンパラディ	牡7	57	12	C				10,8	16,5	7,7	13	53	7	大野拓	大竹正	R	B	
25	26	×	4	8	美)フィアスプライド	牝5	55	11	B	注			16,1	14,1	9,10	11	79	8	菅原明	国枝栄			
52	39	▲	5	9	美)ガロアクリーク	牡6	58	9	C			E	7,3	4,5	12,2	9	66	8	石橋脩	上原博		A	
45	37		5	10	栗)ヤマニンサンバ	牡5	57	14	B	△	C+	▲	12,3	4,7	10,2	3	96	2	杉原誠	斉藤崇			
5	28		6	11	栗)ヤマニンサルバム	牡4	57	10		△	馬		9,10	2,11	4,3	19	151	7	三浦皇	中村直	展		
4	33	×	6	12	栗)エアファンディタ	牡6	57	5		△			8,2	11,2	7,6	17	78	28	戸崎圭	池添学		B	
5	9		7	13	美)トーラスジェミニ	牡7	57	17					13,15	16,16	9,14	0	103	3	木幡育	小桧山	展		
16	25		7	14	栗)レクセランス	牡6	57	16		注			8,6	11,1	15,13	3	96	3	木幡巧	池添学	R		
10	55	○	8	15	栗)ジャスティンカフェ	牡5	57	1	A	注	馬	D	9,3	12,1	15,2	47	79	48	横山和	安田翔		A	
2	12	×	8	16	美)ラストドラフト	牡7	57	15					5,16	9,9	11,12	0	0	3	松岡正	戸田博		A	
3	21		8	17	美)ルーージュエヴァイユ	牝4	55	6		△			9,6	12,7	6,2	9	65	8	石川裕	黒岩陽			

近走脚質と枠の並びから考えて、
レースのペースを支配するのは2番マテンロウスカイ。

マテンロウスカイが逃げると、最初の1Fを除いて
12秒台のラップが存在せず、11秒台を淡々と刻む
持続ラップになっております。

また、今日は一日雨の予報が出ており、
雨中の開催となれば、いくら水はけが良い東京でも
さすがにあめばばになりそうです。

ラップパターンと雨馬場適性に気を配りつつ
予想を進めて参りたいと思います。

◎2番マテンロウスカイ

父:モーリス(欧ロベルト系)
 父母父:カーネギー(欧ロベルト系)
 母父:スペシャルウイーク(Tサンデー系)
 祖母父:トニーピン(欧グレイソヴリン系)

1800mは5戦して全て3着以内と言う典型的な距離巧者。

逃げれば得意のラップパターンに持ち込める訳ですから、
ラップ適性は当然A評価となります。

問題は雨馬場ですが、1800mで雨を経験しておらず、
本当の意味での雨馬場適性は不明です。

そこで、血統から適性を推し量りますと・・・

父モーリスは、雨馬場で2戦2連対。

母父スペシャルウィークは、雨馬場で4戦4勝。

祖母父はトニービンですから、馬場が重くなるのは
割引よりも加点材料になります。

つまり、雨馬場で割り引く必要が感じられない

血統構成の持ち主であると考えられます。

★7番ピースワンパラディ

父は重馬場のダービーを勝った

ジャングルポケット(トニービン系/欧グレイソヴリン系)

母父は重馬場の天皇賞秋を勝ったアグネスデジタル(米ミスプロ系)

雨の東京巧者同士の組合せで、

牝系ファミリーは東京1800m巧者で、

2000mから1800mへの短縮ローテ成功率は50%

本馬自身も、そのローテの不良馬場だった

オリエンタル賞(2勝クラス・東京1800m)を勝っております。

ちなみに、本馬は「2000m⇒1800m」の条件で

「マイ注目馬」に登録しております。

▲9番ガロアクリークは、昨年(重馬場)の2着馬です。

馬券

EZ-WIN推奨馬券

馬連ボックス:2・5・15

くまもん馬券

単勝:2番

複勝:7番

ワイド:7-2・9・15

馬連:2-7・9・15

3連複フォーメーション21点

2-7・9・15-印全頭

EZ-WIN総合評価シート			23.6.11 (日) 阪神11R 三宮S ダ1800m 3歳上OPハンデ 15:35																				
間隔	総合評価点数	予想印	枠番	馬番	馬名	性別	年齢	負担重	予想人気	相対指数	トレンド血統	最終調教評価	中間調教評価	脚質前走	脚質2前	脚質3前	血統・人気複率	血統複勝回収値	前距離複率	騎手	調教師	前走不利	ローテ評価/レシ等
8	51	◎	1	1	栗)キングスソード	牡	4	57	1	A	注			13,1	5,1	6,1	75	125	83	川田将	寺島良		
4	14	×	2	2	栗)アルサトワ	牡	6	58	8					2,15	地方	4,12	10	89	10	松若風	斉藤崇		
4	34	○	2	3	栗)メイクアリーブ	牡	4	55	3	B	注			5,5	1,2	1,1	26	72	18	古川吉	大根田	R	
20	13		3	4	栗)マリオマッハー	セ	6	53	13			C+		9,9	10,5	13,1	3	65	3	秋山真	安達昭		
5	27	×	3	5	栗)フィロロッソ	牡	6	56	6	B				11,3	5,6	9,1	18	97	11	岩田望	中竹和		
2	31	×	4	6	栗)ピヨンドザファザー	牡	4	56	4	B	注			11,1	15,2	14,1	13	103	22	坂井瑠	藤岡健		
8	35		4	7	栗)ゴールドハイアー	牡	5	55	9		注	C+		10,7	9,3	7,1	19	153	11	菱田裕	大久保		
46	9		5	8	栗)コルテジア	牡	6	56	11					2,16	2,10	2,15	0	29	3	藤岡康	鈴木孝		
5	22		5	9	栗)メイショウテンゲン	牡	7	54	15		△			15,12	14,12	14,8	12	226	2	国分恭	松永昌		
7	7		6	10	栗)ジャズブルース	牡	4	55	14					7,15	地方	3,8	10	170	2	団野大	吉村圭		
6	32	▲	6	11	栗)エナハツホ	牝	4	53	7		△			7,1	12,2	8,1	50	150	11	小崎綾	吉田直		
12	44	×	7	12	栗)ニューモニュメント	牡	7	58	2	A	注	D+	▲	地方	地方	10,1	30	104	22	酒井学	小崎憲		
3	18		7	13	栗)ワールドバローズ	牡	5	56	10		△	B		9,9	4,8	3,5	1	11	3	和田竜	石坂公		
3	24	△	8	14	栗)メイショウフンジン	牡	5	58	5	C	注			2,8	地方	1,7	24	77	22	太宰啓	西園正		
14	32	×	8	15	栗)ニホンピロスクーロ	セ	6	55	12		注		★	2,13	2,12	5,11	8	108	3	高倉稜	服部利	TR	TC

雨の影響で、前が止まりにくい傾向が出ています。
4角で5~6番手に居ないと、なかなか差しは届かない馬場。

また、雨馬場ではAPインディ系種牡馬産駒が走りやすくなります。

◎1番キングスソード

父:シニスターミニスター(米APインディ系)

母父:キングヘイロー(欧リファール系)

祖母父:欧ダンチヒ系

あまりペースが速いと前に行けませんが、
今回のメンバーなら好位から競馬が出来そうで、
能力的に抜けた存在ですから逆らえません。

○3番メイクアリーブ

父:シニスターミニスター(米APインディ系)

母父:スペシャルウイーク(Tサンデー系)

祖母父:欧ダンチヒ系

逃げなくても勝てる逃げ馬。
デビュー以来、馬券圏外が一度もなく、
テン乗りの鞍上以外に不安材料はありません。

半兄のヴェンジェンスは、JRAダート重賞ウイナーで、
雨馬場の当レースで勝っております。

馬券

馬連:1-3

3連単フォーメーション14点

1 ↔ 3 ⇒ 印全頭

EZ-WIN予想の馬券構築について

EZ-WIN予想に打っている印によって
おススメの馬券は、以下の通りとなります。

馬連

◎から流し。相手は○▲★☆△

通常は4～5点になります。

3連複フォーメーション

買目平均は30点前後になりますが

10万級の大きな馬券を取りこぼして悔しい思いを
しない為には、トリガミの覚悟も必要です。

1列目：◎

2列目：○▲★☆△

3列目：印全頭

ワイド

★ー◎○▲

★の単複